

地球温暖化対策実施状況報告書

2020年9月14日

（報告先）
横浜市長

住所 愛知県名古屋市南区七条町3-5-1

氏名 新日本ウエックス株式会社
代表取締役社長 廣瀬 純平

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	新日本ウエックス株式会社 代表取締役社長 廣瀬 純平				
事業者の主たる 事業所の所在地	愛知県名古屋市南区七条町3-5-1				
主たる事業の業種	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業			
	中分類	78 洗濯・理容・美容・浴場業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	1,858	kl	自動車の台数	台

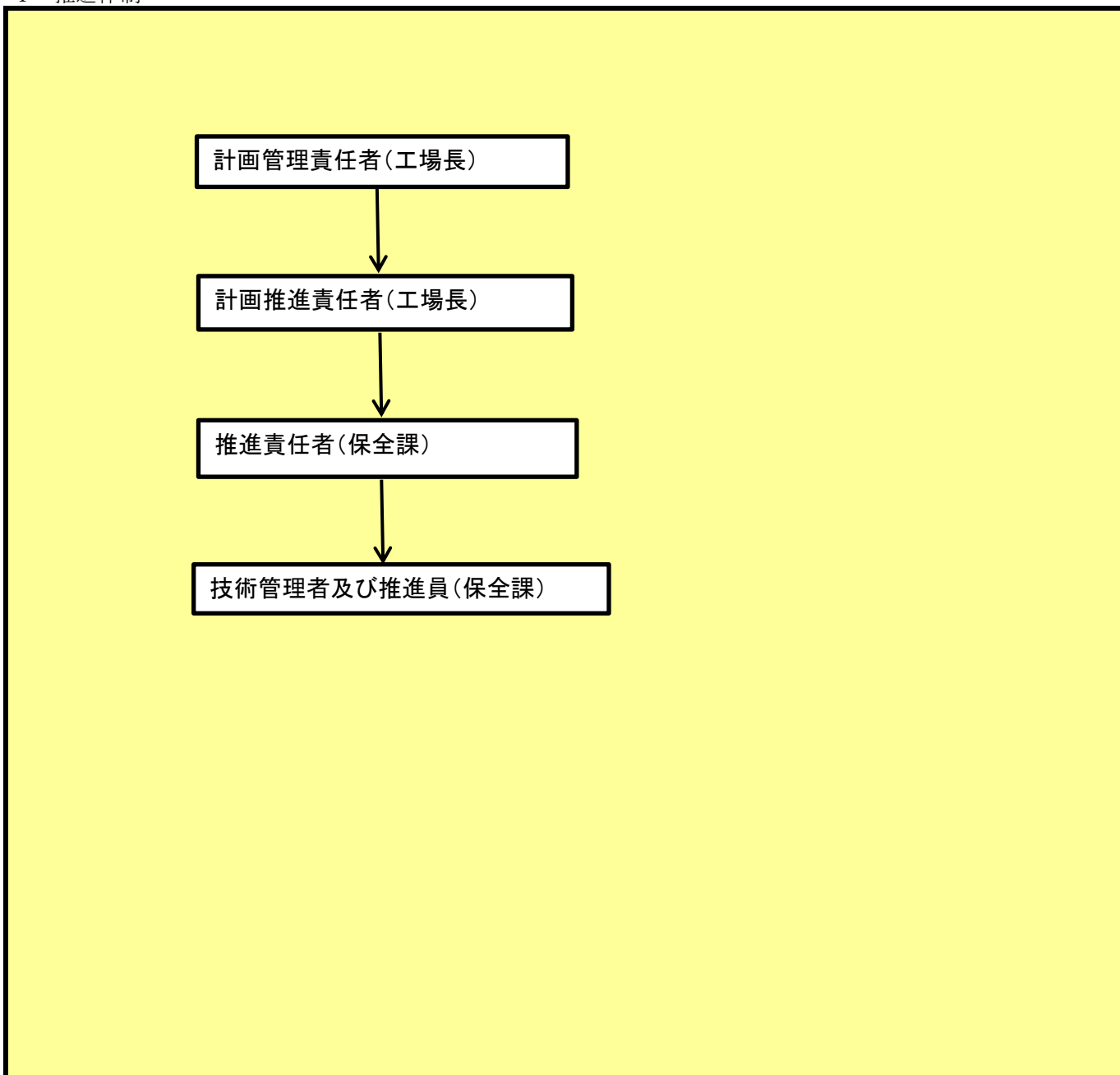
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2017	年度～	2019	年度	実施年度	2019	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>基本方針</p> <p>当工場で温室効果ガスを発生する設備は都市ガス用貫流ボイラー（5台）である。</p> <p>○生産トン数の増減に合わせてボイラー稼働開始時間と稼働台数を適正に管理</p> <p>○再生利用エネルギーの記録管理</p> <p>○平成29年度以降から平成31年度で高効率タイプのボイラーへ更新予定</p>
--

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	横浜工場
	所在地	神奈川県横浜市中区かもめ町37
	閲覧可能時間	09:00~18:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2016年度)	基準排出量	3,614	t-CO ₂			基準原単位	380.42	t-CO ₂ /千t
	調整後	3,600	t-CO ₂			目標原単位	374.71	t-CO ₂ /千t
目標年度 (2019年度)	目標排出量	3,560	t-CO ₂	削減率	1.5%	削減率	1.5%	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	再生エネルギーの記録管理に加え、平成29年9月より新たに蒸気流量計を設置した。これにより全体の蒸気使用量しか分からなかった蒸気流量が各ライン毎に正確に把握出来るようになった。また今後は都市ガス用貫流ボイラーの更新も予定する。以上により年0.5%の温室効果ガスの削減を設定した。							
事業者全体としての目標等								
第一年度 (2017年度)	排出量	3,734	t-CO ₂	削減率	▲ 3.3%	排出原単位	333.81	t-CO ₂ /千t
	調整後	3,693	t-CO ₂	削減率	▲ 2.6%		削減率	12.3%
目標等の達成状況及び説明	稼働時間の増加により排出量が増加してしましたが2018年3月に貫流ボイラー2基を更新した為、3月は前年同月に比べガス原単位が14%低減した。顧客の増加により稼働時間の低減は厳しいが昨年に比べガス原単位の低減は見込まれる。またボイラー（残り3台）も順次更新予定							
第二年度 (2018年度)	排出量	3,812	t-CO ₂	削減率	▲ 5.5%	排出原単位	318.86	t-CO ₂ /千t
	調整後	3,749	t-CO ₂	削減率	▲ 4.1%		削減率	16.2%
目標等の達成状況及び説明	新規荷量増加により排出量は増えたが、原単位管理により、排出原単位については良化（16.2%）。今後も継続して原単位良化を図る							
第三年度 (2019年度)	排出量	3,657	t-CO ₂	削減率	▲ 1.2%	排出原単位	345.33	t-CO ₂ /千t
	調整後	3,586	t-CO ₂	削減率	0.4%		削減率	9.2%
目標等の達成状況及び説明	2019年12月にボイラー残り3台を更新。年明け2月以降はコロナ禍による荷量減により排出量が低下した。							
計画期間全体の排出状況に関する説明	最終年度2月以降からコロナ禍により仕事量が低下した為来季以降もその流れは継続すると思われる。それに伴い排出量も低下が予測されます。							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	3,614	1	3,734	1	3,812	1	3,657
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計	1	3,614	1	3,734	1	3,812	1	3,657

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	未実施	未実施	0/1	—	2019年度	台帳作成中	実施済	1/1	—	年度	台帳作成	実施済	1/1	—	年度	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/1	—	2019年度	照明の種類、点灯時間調査運用ルール整備	実施済	1/1	—	年度	照明の種類、点灯時間調査運用ルール整備	実施済	1/1	—	年度	
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度	設備別エネルギー使用量把握	実施済	1/1	—	年度	設備別エネルギー使用量把握	実施済	1/1	—	年度	
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備無し	非該当	/	—	年度	対象設備無し	非該当	/	—	年度	対象設備無し
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度	清掃ルール整備	実施済	1/1	—	年度	清掃ルール整備	実施済	1/1	—	年度	
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度	使用量の日々記録	実施中	0/1	—	2019年度	使用量の日々記録	実施中	0/1	—	2022年度	使用量の日々記録
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度	キュービクル更新予定	実施中	0/1	—	2019年度	キュービクル更新予定	実施中	0/1	—	2022年度	キュービクル更新予定
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度	室内温度管理	実施済	1/1	—	年度	室内温度管理	実施済	1/1	—	年度	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備無し	非該当	/	—	年度	対象設備無し	非該当	/	—	年度	対象設備無し
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/1	—	2019年度	LED照明設置の検討	実施中	0/1	—	2019年度	LED照明設置の検討	実施中	0/1	—	2020年度	LED照明設置の検討
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	未実施	実施中	0/1	—	2019年度	台帳作成中	実施中	0/1	—	2019年度	台帳作成中	実施中	0/1	—	2020年度	台帳作成中
	15	機器性能管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類)ボイラー 0/5	—	2019年度	ボイラー効率算出過程調査	実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度	ボイラー効率算出過程調査	実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度	
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度		実施済	(設備の種類)ボイラー 5/5	—	年度	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施中	実施中	(設備の種類)ヘッド・バルブ 74/80	—	2019年度	該当設備保温	実施済	(設備の種類)ヘッド・バルブ 80/80	—	年度	該当設備保温	実施済	(設備の種類)ヘッド・バルブ 80/80	—	年度	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備無し
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施中	実施中	(設備の種類)コンプレッサ 0/3	—	2019年度	圧縮空気使用設備が要求する圧力調査	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 3/3	—	年度	圧縮空気使用設備が要求する圧力調査	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 3/3	—	年度	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類)コンプレッサ 0/3	—	2019年度	吸気温度測定	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 3/3	—	年度	吸気温度測定	実施済	(設備の種類)コンプレッサ 3/3	—	年度	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度				
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2019年度	横浜市内事業所	71	東京電力エナジーパートナー（株）
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	電気使用量のデマンド管理 クールビズの実施
計画期間内に実施する対策	電気使用量のデマンド管理 クールビズの実施 生産効率の向上による稼働時間の短縮
第一年度実績	クールビズの実施
第二年度実績	○クールビズの実施及びエアコン設定温度（夏場26℃以上、冬場22℃以下）の徹底 ○デマンド管理による電気使用量の確認 ○洗濯充足率向上によるエネルギー使用量の効率化
第三年度実績	未使用ラインの蒸気バルブの開閉点検実施。バルブ閉不良個所はバルブ本体を交換し蒸気漏れを無くした。

14 実施状況等に対する自己評価

ボイラー3台の更新。蒸気バルブ閉不良個所の修理により省エネ化に努めた。加えて不本意ながら昨今のコロナ禍により生産量が減少した為排出量の低下が実現できた
